

嘉治隆一

（おとよ）

評論家。

明治二十九年八月二日兵庫縣生れ、昭和五

十二年五月十九日歿（一八九一—一九七六）。筆名李尚、R、K、R、K生。

大正九年東京帝國大學法學部卒。滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）東京經

濟調査局を経て、昭和九年朝日新聞社入社。副主筆、論議主幹、出版

局長等歴任。妻瑠璃子は英文學者上田敏の長女。

著書『労働協約研究』（合著・社會思想社編、昭和二年十一月十日春

秋社）『社會思想研究叢書』（、田口卯吉著『日本開化小史』（校註、

昭和九年七月十五日岩波書店「岩波文庫」）、中江篤介著『一年有半

・續一年有半』（縮校、昭和十一年二月二十日岩波書店「岩波文

庫」）、同『兆民選集』（縮校、昭和十一年四月十五日岩波書店「岩

波文庫」）、『國防と軍備』（益田豊彦共著・東京朝日新聞東亞問題

調査局編、昭和十一年十一月二十日朝日新聞社「朝日時局讀本」）、

『（事變）時局讀本』（合著・朝日新聞社編、昭和十二年五月二十一日

大阪・朝日新聞社）、『日本—文化情形一瞥』（楊宗蕃譯、昭和十二

年十一月十五日國際文化振興會編刊）、*DE JAPON. COMMENT S'EST*

FORMEE SA CIVILISATION MODERNE（佛文「日本・文化情形」）』（昭

和十四年七月二十日國際文化振興會）、『東邦研究』（昭和十五年

十一月二十日オリエント社）、『（建國）現代のソ聯の經濟』（昭和十六年

三月二十日誠文堂新光社）、『南窓記』（昭和十七年四月二十日昭森

社）、（井上彦二郎）鈴木經勲著『南島航記』（解説・校訂、昭和十七年八月二

十日大和書店）、『シジャーナリズム入門』（合著・日本ジャーナリス

ト連盟編、昭和二十二年一月十五日銀杏書房）、『歴史を創る人々』

（昭和二十二年九月十五日大八洲出版株式會社）、『五月の放』（昭

和)二十八年七月十五日慶友社)、
 『明治の社会問題』(昭和二十年九月)二十
 日慶友社)、
 『人物万華鏡』(昭和四
 十一年十月十五日朝日新聞社)、
 『明治以後の五大記者』(兆民・鼎軒・雪嶺
 ・如是齋・竹虎)』(昭和四十八年一
 月)二十五日朝日新聞社)等。

